

# 中国語の助詞「了」をめぐって

——日本人学習者はなぜ使い方を間違えるのか

## A study of 「了 le」 ——Common mistakes of Japanese learners

湯 麗敏

Tang Limin

### 1. はじめに

日頃、中国語を教える中で、学生たちが中国語の助詞「了」の使い方に多くの戸惑いを感じる場面をしばしば目にする。

中国語は、日本人の学習者にとって、確かに漢字の部分が易しく感じられると思われるが、実は、中国語の漢字と日本語の当用漢字の書き方、読み方及びその意味が、完全に同じものもあれば、全く違ったのも多く見られる。百パーセント漢字を使っている中国語が、同じく漢字文化圏の日本人学習者に簡単そうに見られることによって、安易な気持ちで習い始めた方が少なくないようだ。そして、なんとなく日本語の感覚で中国語の漢字を理解しようとする学習者もたくさんいる。そういうわけで、様々な誤用が現われると思う。よく見られる現象の一つは、助詞の「了」についての誤用である。

本稿は、中国語の助詞「了」をめぐって、以下の四点を持って検討したいと思う。

- ・ 「了」についての用法及び働き
- ・ なぜ学習者が使い方を間違えるのか
- ・ 「了」についてのあるべき思考
- ・ まとめ

### 2. 「了」についての用法及び働き

「了」という文字は、その中国語の読み方としては、「liao」と「le」の二通りがある。大漢語林（大修館平成四年出版した鎌田正・米山寅太郎著）の中に「了」についての語意をこう解釈してある。

「了 liao」というのは、①終わる、終える、物事に結末がつく。また結末をつける。終了の意味になる。また②悟る、理解する、はっきり分かる様子、明らか。「了悟」「了然」。③ついに、結局。④まったく、すべて。⑤助字、文末に置かれ、過去や完了の意を表す。

次に、主に助詞としての「了 le」の用法と働きを検討したい。

中国語の「了」は、助詞のカテゴリーになり、文法上では、動態助詞と語気助詞という二つの役割がある。使い方を大きく分ければ、たぶん二種類がある。一つは、動詞の後ろに「了」を置き、動作行為の実現を表すものである。動詞に目的語が付く場合、「了」は、目的語の前に置く。

使い方として、もう一つは、文末に置き、主に事態に変化が起きたこと、或いは、もうすぐ変化が起きると判断する時に使い、文を完結する役割がある。このような場合、もし動詞に目的語が付く時、「了」は目的語の後ろに置く形になる。そのほか、「了」を文末に置くと、現われた状態の程度を強調する効果もある。また、事物を列挙するときにも「了」という助詞を使うことができる。

例文：

① 動詞+了+目的語

- 爸爸喝了一杯啤酒。 父はビールを一杯飲んだ。
- 我买了两张电影票。 私は映画のチケットを二枚買った。
- 他已经告诉了朋友。 彼はすでに友達に知らせた。
- 昨天看了一本小说。 昨日小説を一冊読んだ。

以上四つの例文、「喝了、买了、告诉了、看了」の「了」がすべて「喝、买、告诉、看」という動詞のすぐ後にあり、そして後ろに目的語が取ってある。そういう意味と使い方から、この「了」が動作行為の完了と実現を表すものだと考えられる。

また、同じ「了」を使った文の後ろに、後続文があるような複文の場合、その「了」を使ったら、仮定の完了、実現を見なせば良いと思う。日本語の「・・・してから・・・する」という意味にあたり、動作の前後関係を表すときに使う。

例文：

- 吃了饭再做吧。 ご飯を食べてからやりましょう。
- 洗了手再吃饭。 手を洗ってから食事をする。
- 进了大学后再学汉语。 大学に入ってから中国語を習う。
- 回了家就睡觉。 家に帰ってからすぐ寝る。

② 動詞+目的語+了

- 天黑了。 空が暗くなった。
- 我开始学习汉语了。 私は中国語の勉強を習い始めた。
- 妈妈也喜欢喝咖啡了。 お母さんもコーヒーを飲むのが好きになった。
- 他不想吃饺子了。 彼は餃子を食べたくなくなった。

以上四つの例文は、いずれも文末に「了」を付け、事態や状況に変化が生じたことを示す。同様に文末に「了」を置き、また違う意味での「了」の使い方もある。形は似ているが、実際に意味が違う。つまり、新しい状況がまもなく、まさに発生しようとしていることを示す場合に「了」を文末か句末に使う。このような使い方には、往々にして前に「快」か「要」を用いて、一緒に使う形になることが多い。

例文：

- 快吃饭了。 もうすぐ食事だ。
- 要下雪了。 雪が降りそうだ。
- 他明天要回国了。 彼は明日帰国になる。
- 学校马上就要开学了。 学校がもうすぐ始まる。

さて、「了」が文末にある場合、そして目的語が付かない場合には、例えば：

- ・ 我看完了。           私は読み終わった。
- ・ 他吃了。           彼は食べた。
- ・ 走了。           行くよ。   もう行った。
- ・ 麻烦您了。       お世話になる。   お世話になった。

というような文は、二通りの解釈ができる。一方は、動作の完了と考えられ、もう一方は、事情、状態の変化と考えられる。ではそのどちらになるかについては、その文の前後の文脈、会話の背景、言語の環境によって、正しく判断し、確認する必要があると思う。

### ③ 動詞+了+目的語+了

- ・ 我吃了饭了。           私はご飯を食べた。
- ・ 朋友们都去了美国了。   友達は何アメリカに行った。
- ・ 我已经付了学费了。       私はすでに学費を払った。
- ・ 他在日本已经住了两年多了。   彼はもう日本に二年余り滞在した。
- ・ 爸爸已经工作了三十年了。   父親はすでに三十年間働いた。

以上の五つの文には、それぞれの文の中に二つ「了」を使った。そのような使い方は、よく見られるが、動詞のあとにある「了」は、動態助詞としての働きがあり、動作の実現か完了を表すので、前の動詞と関係する。一方、文末の「了」は、語気助詞としての働きがあり、文の全体のニュアンスがそれにより、変わることもある。

また、「他在日本已经住了两年多了、爸爸已经工作了三十年了」のような文中に、期間、時間、数量を表す言葉がある場合、動作の開始から今までの経過時間を表すが、特に文末の「了」は、動作全体の完了を表すわけではないが、文末に「了」を用いると、動作がこれからもまた継続していくようなニュアンスが含まれる表現になるのではないか。

「他在日本已经住了两年多了」彼はすでに日本に二年も滞在したという意味だけではなく、今も滞在している、これからも引き続き滞在していくかもしれないが。また、「爸爸已经工作了三十年了」父親はすでに三十年間働いた。文末に「了」を用いることによって、今もまた働いている状態、これからも働き続くかも知れないという意味合いを含んでいることが分かる。

### ④ 名詞/形容詞+了

- ・ 你女儿太漂亮了。       お嬢さんはとてもきれいだ。
- ・ 我胖多了。           私はずいぶん太った。
- ・ 已经夏天了。       すでに夏になった。
- ・ 经理了。           社長になった。

例文の中の「漂亮」と「多」は、形容詞なので、後ろに「了」が付くと、ある変化がすでに完了し、新しい情報として相手に伝え、そして相手の注意を呼び起こすという役割があると考えられる。

「已经夏天了」と「经理了」の例文の「了」は、いずれも語気助詞として、語気を表すために、名詞の後ろに置き、文の中に動詞がないけれど、実際には変化のニュアンスも含まれている。確かに季節はもう冬から夏に変わった、「已经是夏天了」、身分は社員から社長に変わった、「成了经

理了」という意味を持っている文であった。このような文は、ただ変化を表す動詞が文中に隠れてしまっているだけの形になったのだ。

「了」については、またいくつかの使い方があるはずだが、ここでは省略したいと思う。

### 3. なぜ学習者がここを間違えるのか

先ず中国語の「了」に対する認識が不十分だと思うが、日本語の「了」という文字に対する理解と認識が先入観として頭に残され、単に過去形式とか、完了の意味にだけ使われるかと思われる傾向が強かったのではないか。確かに動作の過去、完了、実現を表す場合に使うことができるけれども、決してそれだけではない。安易に「了」という文字の表面的な意味を取ることによってしまったから生じた誤用。「了」を文の中にどこに置くか、文中に置くか、文末に置くか、語順に対する戸惑いによる誤用もよく見られる。もし文の前後の文脈と言語環境をよく考えれば、「了」についての誤用も避けられるだろう。

よく見られる誤文の例：

- |   |                        |                    |
|---|------------------------|--------------------|
| ① | 夕べ私はビールを一本飲んだ。         | 昨晚我喝一瓶啤酒了。         |
| ② | 午前中国語を二時間勉強した。         | 上午学习汉语两个小时了。       |
| ③ | 昨日空港に着いたあと、すぐ家に電話をかけた。 | 昨天到了机场了，马上给家里打电话了。 |
| ④ | 彼女はたくさん喋ったあと、離れていった。   | 她说很多了，就离开了。        |
| ⑤ | 母親は中国に生まれた。            | 妈妈出生在了中国。          |
| ⑥ | 昨日一日中家にいた。             | 昨天一整天在了家。          |
| ⑦ | 若い時いつも外国へ旅行に行きたかった。    | 年轻时常常想了去外国旅游。      |
| ⑧ | 去年の夏休みによく泳ぎに行った。       | 去年夏天经常去了游泳。        |
| ⑨ | 姉は二年前に大学の講師だった。        | 姐姐两年前是了大学讲师。       |
| ⑩ | これは母親が作ったおかずだ。         | 这是妈妈做了菜。           |
| ⑪ | 去年来た時、ここには高いビルはなかった。   | 去年来了时候，这儿没有高楼。     |

誤文の①と②の正しい文は：

- ① 昨晚我喝了一瓶啤酒。
- ② 上午学习了两个小时汉语。

というふうにしなければならない。この二つの例文は過去のことを述べていたので、文中の具体的な動作は飲むことと勉強することだから、過去や完了や実現を表す直接関係がある言葉は動詞でなければならない、実際、日本語のアスペクトを表すことは、たいてい動詞、形容詞、助動詞の語尾変化によって現われるが、中国語も日本語もその過去形の表現方法の発想法が同様で、ただ語順が違うだけなのだ。よって中国語の動態助詞の「了」は、動詞のすぐ後ろに置くべきである。

誤文の③と④の正しい文は：

- ③ 昨天到了机场，马上给家里打电话了。
- ④ 她说了很多以后，就离开了。

以上の二つ例文は、複文になっている。もし後続文が結果を表す文と言うならば、前半の文はその結果を生む条件を表す文と言えるかもしれない。要するに、動作の完了という条件があるから、次の結果が生まれるわけだから。なので「了」は、前半の文末に付けずに、やはり前半の文中の動詞の後ろに付けるべきである。

誤文⑤と⑥の正しい文：

⑤ 妈妈出生在中国。

⑥ 昨天一整天在家。

⑤と⑥のような文は、一見見ると過去形の文章に思われがち、学習者がなんとなく完了の「了」を使いたくなるかもしれない。けれども、「妈妈出生在中国、昨天一整天在家」というような文は、動作の完了と実現を表すことではなくて、「母親は中国に生まれた」「昨日一日中家にいた」という現象や事実を述べたいのだから、むしろ強調するニュアンスが主にお母さんが生まれる場所、昨日一日どこにいるという「存在の場所」を示すことにあるのではないか。だからこのような文には、助詞の「了」を使わないのが普通であると考えられる。

誤文の⑦と⑧の正しい文：

⑦ 年轻时常常想去外国旅游。

⑧ 去年夏天经常去游泳。

⑦と⑧の例文は、確かに過去のことを述べるが、ただし、「若い時いつも外国へ旅行に行きたかった」、「去年の夏休みによく泳ぎに行った」という文の中にいつも行きたかった、よく泳ぎに行ったというような文脈から見ると、ある特定の具体的な動作の完了や実現を表すことではなく、繰り返し、反復する現象を指していることが確認できるので、このような文には「了」を使わない。

誤文の⑨と⑩の正しい文：

⑨ 姐姐两年前是大学讲师。

⑩ 这是妈妈做的菜。

⑨と⑩の例文には、明確な動作性の動詞がないので、「姉は二年前に大学の講師だった」「これは母親が作ったおかずだ」という類の文は、過去のこと、既存の事実を判断する文であるから。たいてい中国語の「是」を使う文に、日本語の「だ」、「だった」にあたる意味を表現するときには、「了」を使わないと考えれば良い。

誤文⑪の正しい文：

去年来的时候, 这儿没有高楼。

去年来た時、ここには高いビルがなかったという文は、「来る」という動詞の完了と実現の意味を強調することではなくて、過去の状態を表すことに重点が置いてあるので、「了」は使わない。

#### 4. 「了」についてのあるべき思考

中国語の助詞「了」について、いろいろな使い方があるが、使い方によって勿論意味も違う。

『誤用から学ぶ中国語—基礎から応用まで—』（郭春貴著）p 117に動態助詞としての「了」について、三つの役割があると書いてある。引用したいと思う。

① 過去に行われた具体的な事実を確認します。日本語に訳すと「……した」となります。

例えば：

- ・ 今天我喝了五杯咖啡。 (今日コーヒーを5杯飲んだ)
- ・ 昨天我写了两封信。 (昨日手紙を2通書いた)

② 過去、現在、未来に関係なく、複文の前半で動作完了という条件を表します。日本語の「……してから」にあたります。例えば：

- ・ 昨天我下了课，给他打电话了。 (昨日授業が終わってから、彼に電話をした)
- ・ 明天我下了课，给他打电话。 (明日授業が終わってから、彼に電話をする)

③ 仮定を表す複文の前半の動作や状態の実現或いは仮定条件を表します。日本語の「……したら」にあたります。例えば：

- ・ 要是有了钱，我就还你。 (もし金があったら、君に返すよ)
- ・ 如果我买了车，我就每天开车上班。(もし車を買ったら、毎日車で通勤する)

「了」に関する考え方については、以上の三つの役割のほかに、また語気助詞として、語気を強めるための働きもあるというのも忘れてはいけません。学習者にとっては、このような使い方を意識して使おうとは思わない傾向があるようだ。

ここに『一步進んだ中国語文法 荒川清秀著』P128の部分を見てみよう。

「……了」は文末に置かれ、変化や変化に気づくことを表します。文末にあつて、その前が動詞ではないときは、すべて「了2」と思っていいでしょう。

- ・ 天气冷了。 (気候が寒くなった)
- ・ 老了，头发都白了。 (年取ったよ、髪の毛も白くなった)
- ・ 我的自行车都坏了。 (私の自転車は壊れた)
- ・ 她二十岁了。 (彼女は二十歳になった)
- ・ 都几点了，你还不起床？ (何時だと思うの、いつまで寝てるの)
- ・ 下雨了。 (雨だ)
- ・ 这盒给你了。 (この箱貴方あげる)
- ・ 八年了，别提它了。 (もう八年になる、それを話題にするのはやめてくれ)
- ・ 他现在是大学生了。 (彼は今では大学生だ)
- ・ 中学生了，还这么淘气。 (中学生にもなって、まだこんなにいたずらなんて)
- ・ 后来怎么样了？ (その後どうなったの)

「了」について、誤用が多く見られる代表的な例文を言うと、次のような現象がある。過去のことを表すときすべて「了」を使ってしまった。確かに過去のことを言うのではあるが、「了」を使ってはいけないケースがある。

例えば：

誤文： 他是去年回国了。 彼は去年帰国した

正しい文：他是去年回国的。

誤文： 我是昨天来日本了           私は昨日日本に来た

正しい文： 我是昨天来日本的。

要するに例文の中の「去」と「来」というような動作が行われる場所、時間、方式などは、過去に済んだことであっても、「了」を使わず、中国語の「是・・・的」の構文を使うべきだ。

「了」を使うとき、こんな場合にも気使わなければならない。つまり、「了」と関係がある否定形と疑問形の表現である。

『中国語文法用語辞典』（呂淑湘主編） p 243～ p 244 により、こういう説明があった。引用してみよう。

#### a 否定「没」

——「了1」の否定には動詞の前に「没」を置く。

- ・采取了措施   ： 没采取措施           （措置を取った   ： 措置を取らなかった）
- ・我喝了一点儿酒   ： 我没喝酒           （少し酒を飲んだ   ： 酒を飲まなかった）
- ・吃了饭就去   ： 没吃饭就去了           （食事をしたらすぐ行く   ： 食事をせずに行った）

——「了1」と「了2」が同時に存在する場合、否定形は「没・・・呢」を用いることが多い。

- ・买了词典了   ： 还没买词典呢           （辞書を買った   ： まだ辞書を買ってない）
- ・我已经问了老曹了   ： 我还没问老曹呢           （もう曹さんに尋ねた   ； まだ曹さんに尋ねていない）

——新たな状況が出現したことを示す「了」を否定する時に「没・・・(呢)」を用いる。

- ・休息了   ： 还没休息(呢)           （休憩している   ： まだ休憩していない）
- ・老了   ： 没老           （老けた   ： 老けていない）

——もうすぐ出現しそうな状況を示す「了2」を否定するときには、「不・・・(呢)」を用いる。

- ・我想走了   ： 我不想走(呢)           （帰ろうと思う   ： まだ帰るつもりはない）
- ・他快去上海了   ： 他还不去上海呢           （彼はもうすぐ上海へ行く   ： 彼はまだ上海に行かない）

——数量を表す語句（物の量・動作の回数・時間）がある場合、動作全体を否定するには、「・・・也

（都） 没・・・」を用いる。

- ・生了三天病   ： 一天病也没生           （三日間病気をした   ： 一日も病気をしていない）
- ・买了三本小说   ： 一本也没买           （小説を三冊買った   ： 1冊も買ってない）

——数量のみを否定するには、「没」或いは別の語を用いる。

- ・走了三天(了)   ： 走了没有(不到, 不止)三天           （出かけて三日になる   ： 出かけて三日たっていない）

#### b 否定「不」

——文中に「了」と「不」が共存することがあり、2つの場合がある。

1 つは「不+動の後ろに了を置いて、本の計画や傾向を変えたために新たな状況が生まれたと

いう意味を含む。

- ・任务紧，明天不休息了。（仕事が忙しいから明日は休まないことにした）
- ・进了工厂了，不上学了。（工場に入ったから学校は辞めた）

もう一つは「不」で「了」を否定するが、事実の否定ではなく、仮定上の否定にすぎず、「如果不……」

の意味である場合。こうした文の「了」は省略できる。

- ・事情不讲清楚（了）不行：物ことははっきり話さなくてはだめだ
  - ・功课不做完（了）心里不踏实：勉強を終えないと安心できない
- c 否定「別」

——文中に「了」と「別」が共存する場合があります、次の2つに分けられる。

1つは、別+動+了2で、相手が今やっている動作を止めさせる意味を表す。もう1つは、別+動+了1で、相手にあることをさせないようにする意味を表す（この場合の「了」は「掉」に近い）。

- ・别想了。（もう考えるな）
- ・你喝了不少了，别喝了。（君ずいぶん飲んだよ、もう飲むなよ）

d 疑問「……没有？」

——「了」を用いた文を疑問文にするには、原則としてもとの文末に「没有」を加え、文中の「了」をそのままにしておく。しかしもとの文に2つ「了」がある場合には、通常「了1」か「了2」のどちらかだけ残す。もとの文に「了」が1つしかなくても、その位置を変えることが多い。（動詞が別の要素が伴わない場合）。

- ・买了词典了：买了词典了没有？（この形は少ない）（辞書を買いましたか）＝买了词典没有？＝买词典了没有？

## 5. まとめ

上述のように中国語の「了」は、その使い方が一見簡単そうに見えるけれども確かに難しい。よく誤用を分析してみれば、日本人の学習者にとっては、乗り越えなければならない障碍があると思う。というのは、中国語を理解しようと思ったら、先ずどうやって日本語の発想から抜け出るかという努力、先入観を持たず、現実に置かれてある言語の環境と背景をよく考えた上で使うこと。中国語も日本語も漢字を使っているが、言葉への理解が足りない上に、正反対の構造部分も多いので、問題意識を持たずに使うと、誤用を生じやすくなると思う。

もう一つ、外国語を習う時、その国の文化、歴史、風俗習慣も知ることがとても大切なことである。その相手国への理解があれば、知りたい気持ちを持てれば、その国の言語をしっかりと身に付くことにも繋がるだろうと思う。

## 参考書

広辞苑 岩波書店第六版

中日辞典 講談社

中日大辞典 大修館書店



大漢語林 大修館書店

中国語文法用例辞典 呂淑湘 主編 東方書店

中国語文法概論 李定臨著、宮田一郎訳 光生館

現代中国語総説 松岡栄志など 監訳 北京大学中国語言文学系現代漢語研究室 編

中国語の誤用分析 吳麗君 他著 関西大学出版部

誤用から学ぶ中国語 郭春貴 著 白帝社

一步すすんだ中国語文法 荒川清秀 著 大修館

実用詳解中国語文法 高橋弥守彦 著 郁文堂

日本語から学ぶ中国語・中国語から学ぶ日本語 王浩智 著 東京図書